

2020

The first half of the year

DISCLOSURE

2020年度 上半期 業績のご報告

理事長あいさつ

魚沼の
塩沢信用組合
理事長 小野澤 一成



拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2020年4月1日に大手銀行は、定期預金金利を引き下げました。県内金融機関も追随し、地銀3行、信金9庫、信組9組、JAも労金も7月末までにすべてが同一の店頭預金金利になりました。

日銀がマイナス金利を導入した「4年前から」すでに「3回」預金金利は引き下げられております。

その都度、特にお客様へ告知するわけでもなく、いつの間にか、店頭表示の預金金利は、「0.001%」と「0.002%」の二つになりました。

当塩沢信用組合は、県下金融機関と足並みを揃えて、金利を引き下げるかどうか検討いたしましたが、預金金利を引き下げる“理由”が見つからず、ついに「4年前から」金利を引き下げずに来ております。

結果、店頭金利のみを比較しますと「20倍」の差になりました。

私どもは、金利を引き下げる時や手数料を引き上げる場合は、当然にお客様に「告知」いたします。

お客様に不利益になることは必ずお伝えするのが、商売の鉄則と心得ております。塩沢信用組合は、金融業を営む“商人”であると自負しております。

「資金繰りについてのご相談は、私どもにお任せください。」「私どもが寄り添い全力でご支援いたします。」

私どもは「金融インフラを止めるな」の使命感で、徹底した衛生管理で感染リスクを排除し感染拡大を防止しつつ、営業の職員も窓口の職員も“笑顔”でおお客様のご相談にお応えしております。

何卒、今後とも変わらぬご愛顧を賜りますことをお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

以上





● 2020年度「半期」事業報告

(2020年10月7日)

(自：2020年4月1日～至：2020年9月30日)

1. 事業の概況

「職員」とその家族を守ることも大切な役目であり、不足している「マスク」と「アルコール消毒液」を当組合で購入して、職員へ配付しました。

4月の給与で「出前ランチ手当」を全職員に支給し、地元の“飲食店”を応援、当組合の発信から県内で“出前”と“テイクアウト”ブームが起きました。

「日本政策金融公庫」と「新潟県信用保証協会」と塩沢信用組合で三位一体となる連携協力を早期に打ち出し、そのおかげで、当組合が支援する取引先は連携する二機関様から優先して対応していただきました。

更に、お客様の負担を少しでも軽減するために、融資手続きを簡素化し、返済猶予の相談にも素早く対応、**GW中も「休日相談窓口」を開設いたしました。**

電話一本で駆けつける「出向き相談窓口」を実施、返済猶予などの条件変更（既存の住宅ローン含む）は通常の手数料を「無料化」して対応しております。

国民一人10万円の「特別定額給付金」、売上が半減した中小企業へ最大「200万円」、個人事業者へ最大「100万円」の**「持続化給付金」や、審査が複雑とされる「雇用調整助成金」についても、県と各自治体が給付する「休業協力金」についても、当組合の職員が申請等のお手伝いをさせていただきました。**

4月20日と21日に、地元自治体の市長と町長を訪問し、迅速に資金を行き渡らせるために事務の円滑化に全面的に協力する旨を伝えました。

働く人に“安心”を提供するために**「衛生メニュー」をDVD化し“無料”で配付しました。**6月11日に『宿泊業による“安心衛生サミット”』第2回を開催、**緊急事態解除後の顧客の受入体制について知恵を出し合いました。**

「新型コロナウイルス感染症」の早期収束を願っておりますが、長期化することや、地元で感染者が出た場合、当組合内で感染者が出た場合などを常に想定し、日々刻々と変化する情勢に対応して、**優先順位を地域支援及び事業者支援とすることを4月早々に決め、2020年度の「事業計画書」を全面改正しました。**

5月の「総代地区会議」は、『三密』を回避した「個別説明方式」として、総代お一人ずつ訪問して、決算内容等を直接ご説明いたしました。

6月23日「通常総代会」は広い会場に「人数制限」を設けて、「書面議決」と「委任状」により開催し、予定議案すべて可決承認いただきました。

7月2日から8日に二市二町の市長町長を訪問、当地域の安心安全をPRするために衛生メニューのガイドラインを作成し、合格した施設へ「認定証」を与えることや、働く従業員の「感染防止」を徹底しつつ「合宿・修学旅行」等を推奨する文書を各市長、町長名で発信してほしいとして**「支援要請書」をお渡しいたしました。**

7月3日には、**11年連続好決算を記念して、「津南町」へ100万円の寄付を贈呈、コロナ禍で自らも大変な状況の中、地域のチカラになろうと頑張っている事業者6先へ金一封「5万円」を添えて「表彰状」を贈りました。**

6事業者様は、些細なことでも評価してもらい「表彰」されたことを嬉しく思うと同時に、このことを励みに益々頑張りますと挨拶してくれました。

7月23日に地元の消防署と連携し、**職員と近隣住民が一体となったAED訓練や初期消火訓練等を実施、**災害時には当組合の本支店が地域避難場所の一つとして役割を担えるように「非常電源」を確保するなどの態勢を整えました。

災害発生時を想定しておくことは、地域の金融機関として大切なことであり4月以降「防衛会議」として、マネロン・テロ資金対策、サイバーセキュリティ、BCP強化を目的に「三線合同」による会議を毎月開催しております。

8月11日より「新型コロナウイルス感染症」の厚生労働省が推奨する「接触確認アプリ」(通称COCO)の普及促進キャンペーンを全部店で一斉に開始し、**自分をまもり、大切な人をまもり、職場をまもり、地域をまもることを目的に全役職員がアプリを登録しました。**

8月24日と25日に**「第4回就職応援フェア」をweb企業説明会として開催**参加企業19社に対し、エントリー者112名、雇用機会の確保に貢献しました。

9月は、このコロナ禍で**取引先に少しでも「やる気」を維持してもらうための「ヒント」や「きっかけ」を提供することを目的に、既存事業先「654先」を重点的に訪問し、「お困り事」や要望「どうしてほしいのか」を把握しました。**

今やれることは全てやるとして、組織が丸となり取組んでおります。

私どもは「金融インフラを止めるな」の使命感で、徹底した衛生管理で感染リスクを排除し感染拡大を防止しつつ、営業の職員も窓口の職員も“笑顔”でお客様のご相談にお応えしております。

9月29日に**塩沢信用組合では「新型コロナウイルスになんか負けないぞ!!」を全役職員で「宣言」し、差別や偏見、誹謗中傷が発生しないように「お互い様」の心を推奨し、感染してしまった人やその家族に対しては、相手の気持ちを思いやり、優しく親切にいたわる“輪”を広げてまいります。**

今後の「行事予定」等に関して、出来るだけ中止や延期をせずに行いたいと考えておりますが、「感染リスク」を排除することも大切なことであり、やむを得ず「中止変更」する場合は、少しでも早くお知らせを致します。

今期の決算に関して、順調に推移しており、これも偏に総代はじめ組合員の皆様のご理解とご協力の賜物であり、役員職員一同感謝すると共に、引き続きのご支援をお願い申し上げ、半期の『事業報告』といたします。

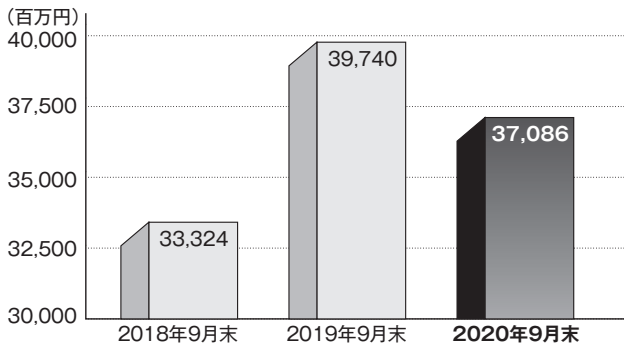
以上

2020年度「半期決算」の報告

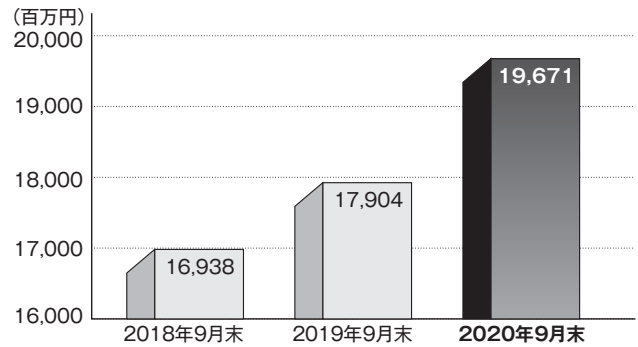
(自：2020年4月1日～至：2020年9月30日)

主要勘定の推移

預積金残高

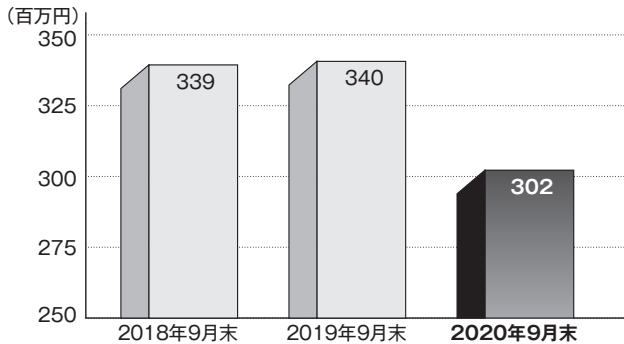


貸出金残高

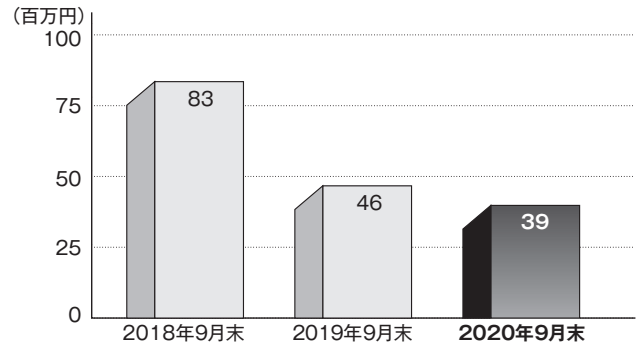


収益等の推移

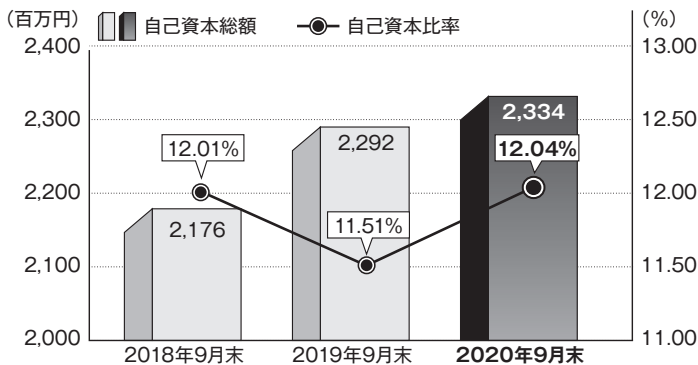
経常収益



当期純利益



自己資本比率・自己資本額の推移

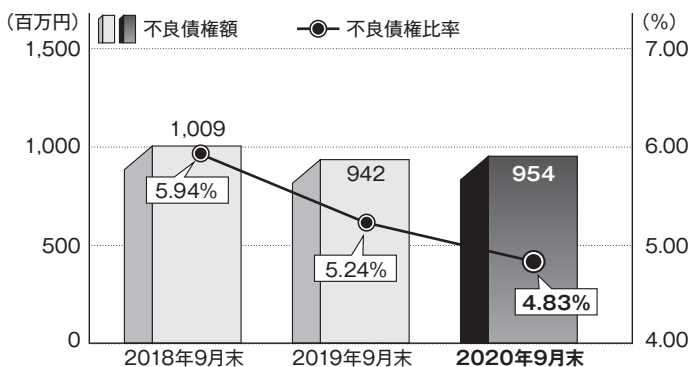


自己資本の額は順調に積み増しされています。自己資本比率は、国内のみで業務を行なう金融機関は4%以上の水準が求められていますが、当組合は国際基準である8%をも大幅に超え、高い健全性が確保されています。

※リスクアセット上の自己資本総額となります。

不良債権比率・不良債権額の推移

金融再生法開示債権の推移



不良債権比率は、毎年融資先の改善支援に取り組み、順調に改善しています。2020年9月末では、5%を下回っております。



2020年度「半期決算」の報告

(自：2020年4月1日～至：2020年9月30日)

資産の部

(金額単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 2019年9月	(B) 今期予算 2020年9月	(C) 今期実績 2020年9月	予算対比 ((C) — (B))	実績対比 ((C) — (A))
(資 産 の 部)					
現 金	462	500	481	▲ 19	19
預 け 金	22,459	13,030	15,516	2,486	▲ 6,943
有 価 証 券	3,735	5,131	5,245	114	1,510
貸 出 金	17,904	18,360	19,671	1,311	1,767
そ の 他 資 産	270	250	255	5	▲ 15
有 形 固 定 資 産	492	470	475	5	▲ 17
無 形 固 定 資 産	1	1	1	0	0
繰 延 税 金 資 産	0	0	0	0	0
債 務 保 証 見 返	37	36	36	0	▲ 1
貸 倒 引 当 金	▲ 550	▲ 546	▲ 542	4	8
資 産 の 部 合 計	44,814	37,232	41,143	3,911	▲ 3,671

負債の部ならびに純資産の部

(金額単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 2019年9月	(B) 今期予算 2020年9月	(C) 今期実績 2020年9月	予算対比 ((C) — (B))	実績対比 ((C) — (A))
(負 債 の 部)					
預 金 積 金	39,740	34,010	37,086	3,076	▲ 2,654
借 用 金	2,400	800	1,500	700	▲ 900
そ の 他 負 債	74	60	70	10	▲ 4
各 種 引 当 金 等	63	68	67	▲ 1	4
繰 延 税 金 負 債	65	0	19	19	▲ 46
債 務 保 証	37	36	36	0	▲ 1
負 債 の 部 合 計	42,381	34,974	38,780	3,806	▲ 3,601
(純 資 産 の 部)				0	0
出 資 金	413	407	407	0	▲ 6
利 益 剰 余 金	1,809	1,851	1,872	21	63
利 益 準 備 金	412	406	406	0	▲ 6
そ の 他 利 益 剰 余 金	1,397	1,445	1,466	21	69
当 期 未 処 分 剰 余 金	152	124	145	21	▲ 7
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	210	0	82	82	▲ 128
純 資 産 の 部 合 計	2,432	2,258	2,363	105	▲ 69
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	44,814	37,232	41,143	3,911	▲ 3,671

損益の部

(金額単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 2019年9月	(B) 今期予算 2020年9月	(C) 今期実績 2020年9月	予算対比 〔(C) — (B)〕	実績対比 〔(C) — (A)〕
経常収益	340	280	302	22	▲ 38
資金運用収益	317	263	281	18	▲ 36
貸出金利息	221	224	222	▲ 2	1
預け金利息	11	8	8	0	▲ 3
有価証券利息配当金	80	26	44	18	▲ 36
その他の受入利息	5	4	5	1	0
役務取引等収益	14	14	15	1	1
その他業務収益	4	0	0	0	▲ 4
国債等債券売却益	3	0	0	0	▲ 3
その他の業務収益	1	0	0	0	▲ 1
その他経常収益	0	2	4	2	4
貸倒引当金戻入益	0	0	4	4	4
その他の経常収益	0	0	0	0	0
経常費用	273	254	251	▲ 3	▲ 22
資金調達費用	7	5	5	0	▲ 2
預積金利息	7	5	5	0	▲ 2
借用金利息	0	0	0	0	0
その他の支払利息	0	0	0	0	0
役務取引等費用	14	14	12	▲ 2	▲ 2
その他業務費用	0	0	0	0	0
国債等債券売却損	0	0	0	0	0
その他の業務費用	0	0	0	0	0
経常費用	249	235	233	▲ 2	▲ 16
人件費	136	139	140	1	4
物件費	108	93	89	▲ 4	▲ 19
税金	3	3	3	0	0
その他経常費用	2	0	0	0	2
貸倒引当金繰入額	0	0	0	0	0
貸出金償却	0	0	0	0	0
その他の経常費用	2	0	0	0	▲ 2
経常利益	66	26	50	24	▲ 16
特別利益	0	0	0	0	0
固定資産処分益	0	0	0	0	0
その他の特別利益	0	0	0	0	0
特別損失	0	0	0	0	0
固定資産処分損	0	0	0	0	0
その他の特別損失	0	0	0	0	0
税引前当期純利益	66	26	50	24	▲ 16
法人税、住民税及び事業税	20	7	11	4	▲ 9
法人税等調整額	0	0	0	0	0
当期純利益	46	18	39	21	▲ 7
前期繰越金	106	106	106	0	0
当期末処分剰余金	152	124	145	21	▲ 7



2020年度(2021年3月期)「決算」の見込

(自:2020年4月1日~至:2021年3月31日)

資産の部

(金額単位:百万円)

科 目	(A) 前期実績 2020年3月	(B) 今期予算 2021年3月	(C) 今期見込 2021年3月	予算対比 〔(C) — (B)〕	実績対比 〔(C) — (A)〕
(資 産 の 部)					
現 金	470	500	500	0	30
預 け 金	16,204	13,434	12,590	▲ 844	▲ 3,614
有 価 証 券	4,392	5,240	5,245	5	853
貸 出 金	17,918	18,418	19,406	988	1,488
そ の 他 資 産	266	260	260	0	▲ 6
有 形 固 定 資 産	482	490	490	0	8
無 形 固 定 資 産	1	1	1	0	0
繰 延 税 金 資 産	12	0	0	0	▲ 12
債 務 保 証 見 返	38	35	35	0	▲ 3
貸 倒 引 当 金	▲ 546	▲ 558	▲ 558	0	▲ 12
資 産 の 部 合 計	39,240	37,820	37,969	149	▲ 1,271

負債の部ならびに純資産の部

(金額単位:百万円)

科 目	(A) 前期実績 2020年3月	(B) 今期予算 2021年3月	(C) 今期見込 2021年3月	予算対比 〔(C) — (B)〕	実績対比 〔(C) — (A)〕
(負 債 の 部)					
預 金 積 金	36,038	34,538	35,386	848	▲ 652
借 用 金	800	800	0	▲ 800	▲ 800
そ の 他 負 債	94	90	90	0	▲ 4
各 種 引 当 金 等	65	60	60	0	▲ 5
繰 延 税 金 負 債	0	0	19	19	19
債 務 保 証	38	35	35	0	▲ 3
負 債 の 部 合 計	37,036	35,523	35,590	67	▲ 1,446
(純 資 産 の 部)					
出 資 金	406	406	406	0	0
利 益 剰 余 金	1,846	1,891	1,891	0	45
利 益 準 備 金	412	406	406	0	▲ 6
そ の 他 利 益 剰 余 金	1,433	1,485	1,485	0	52
当 期 未 処 分 剰 余 金	188	166	166	0	▲ 22
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	▲ 48	0	82	82	130
純 資 産 の 部 合 計	2,204	2,297	2,379	82	175
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	39,240	37,820	37,969	149	▲ 1,271

損益の部

(金額単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 2020年3月	(B) 今期予算 2021年3月	(C) 今期見込 2021年3月	予算対比 [(C) - (B)]	実績対比 [(C) - (A)]
経常収益	646	594	580	▲ 14	▲ 66
資金運用収益	603	559	547	▲ 12	▲ 56
貸出金利息	447	451	449	▲ 2	2
預け金利息	22	17	17	0	▲ 5
有価証券利息配当金	128	87	76	▲ 11	▲ 52
その他の受入利息	5	4	4	0	▲ 1
役務取引等収益	30	30	30	0	0
その他業務収益	10	5	3	▲ 2	▲ 7
国債等債券売却益	3	0	0	0	▲ 3
その他の業務収益	6	5	3	▲ 2	▲ 3
その他経常収益	0	0	0	0	0
貸倒引当金戻入益	0	0	0	0	0
その他の経常収益	0	0	0	0	0
経常費用	521	508	494	▲ 14	▲ 27
資金調達費用	15	10	11	1	▲ 4
預積金利息	14	10	11	1	▲ 3
借入金利息	0	0	0	0	0
その他の支払利息	0	0	0	0	0
役務取引等費用	27	28	24	▲ 4	▲ 3
その他業務費用	0	0	0	0	0
国債等債券売却損	0	0	0	0	0
その他の業務費用	0	0	0	0	0
経費	466	457	444	▲ 13	▲ 22
人件費	268	275	272	▲ 3	4
物件費	192	177	168	▲ 9	▲ 24
税金	4	5	4	▲ 1	0
その他経常費用	11	12	12	0	1
貸倒引当金繰入額	7	12	12	0	5
貸出金償却	0	0	0	0	0
その他の経常費用	4	0	0	0	▲ 4
経常利益	124	86	86	0	▲ 38
特別利益	0	0	0	0	0
固定資産処分益	0	0	0	0	0
その他の特別利益	0	0	0	0	0
特別損失	0	0	0	0	0
固定資産処分損	0	0	0	0	0
その他の特別損失	0	0	0	0	0
税引前当期純利益	124	86	86	0	▲ 38
法人税、住民税及び事業税	38	26	26	0	▲ 12
法人税等調整額	3	0	0	0	▲ 3
当期純利益	82	60	60	0	▲ 22
前期繰越金	106	106	106	0	0
当期末処分剰余金	188	166	166	0	▲ 22



● 金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額の状況

(金額単位：千円)

区 分	年度別	債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D)=(B)+(C)	保全率 (D)/(A)	貸倒引当金引当率 (C)/{(A)-(B)}
破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権	2018年9月	140,890	46,610	94,280	140,890	100.00 %	100.00 %
	2019年9月	79,857	19,921	59,936	79,857	100.00 %	100.00 %
	2020年9月	79,847	19,321	60,526	79,847	100.00 %	100.00 %
危 険 債 権	2018年9月	801,954	291,808	484,027	775,835	96.74 %	94.88 %
	2019年9月	681,391	245,343	419,337	664,680	97.54 %	96.17 %
	2020年9月	666,706	219,774	427,254	647,028	97.05 %	95.60 %
要管理債権	2018年9月	67,153	24,852	9,208	34,060	50.72 %	21.77 %
	2019年9月	180,867	46,023	35,384	81,407	45.01 %	26.24 %
	2020年9月	207,455	60,417	26,657	87,074	41.97 %	18.13 %
不良債権計	2018年9月	1,009,998	363,270	587,515	950,785	94.14 %	90.84 %
	2019年9月	942,116	311,287	514,657	825,944	87.67 %	81.58 %
	2020年9月	954,009	299,512	514,437	813,949	85.32 %	78.60 %
正 常 債 権	2018年9月	15,990,399					
	2019年9月	17,022,927					
	2020年9月	18,779,141					
合 計	2018年9月	17,000,398					
	2019年9月	17,965,043					
	2020年9月	19,733,150					

(注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
3. 「要管理債権」とは、「3か月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。

年度	不良債権比率
2018年9月	5.94 %
2019年9月	5.24 %
2020年9月	4.83 %

● 有価証券の時価等情報

1. 満期保有目的

(金額単位：百万円)

項 目	2019年9月			2020年9月			
	貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額	
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	-	-	-	-	-	
	地方債	-	-	-	-	-	
	社債	-	-	-	-	-	
	その他	400	428	28	300	325	25
	小計	400	428	28	300	325	25
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	-	-	-	-	-	
	地方債	-	-	-	-	-	
	社債	-	-	-	-	-	
	その他	400	386	▲ 14	600	586	14
	小計	400	386	▲ 14	600	586	14
合 計	800	814	14	900	911	11	

2. その他有価証券

(金額単位：百万円)

項 目	2019年9月			2020年9月				
	貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額		
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	株 式	-	-	-	-	-		
	債 券	1,373	1,199	174	1,737	1,598	139	
	国債	1,273	1,099	174	1,537	1,398	139	
	地方債	-	-	-	-	-	-	
	社債	100	100	0	200	200	0	
	その他	1,162	1,026	136	554	493	61	
	小 計	2,536	2,226	310	2,291	2,091	200	
	時価が貸借対照表計上額を超えないもの	株 式	-	-	-	91	99	▲ 8
		債 券	103	103	0	1,185	1,202	▲ 17
		国債	-	-	-	591	599	▲ 8
地方債		-	-	-	-	-	-	
社債		103	103	0	594	603	▲ 9	
その他		280	300	▲ 20	761	822	▲ 61	
小 計	383	403	▲ 20	2,038	2,124	▲ 86		
合 計	2,920	2,629	290	4,329	4,215	114		

3. 時価評価されていない有価証券

(金額単位：百万円)

項 目	2019年9月 貸借対照表 計上額	2020年9月 貸借対照表 計上額
その他有価証券	15	15
非上場株式	15	15
非上場外国証券	-	-

● 地域貢献に関する情報開示

地域に貢献するしおしの経営姿勢

当組合は、新潟県南部の魚沼エリアを営業区域とし、地元の中小零細事業者や住民が組合員となって、お互い助け合い、発展していくという相互扶助の精神に基づき運営されている協同組合組織金融機関です。

中小零細事業者や住民一人一人の顔が見えるさめの細かな取引を基本としており、常に組合員の事業の発展や生活の質の向上に貢献する為、組合員の利益を第一に考えることを基本としております。

また、地域社会の一員として、当組合の経営資源を活用し、地域社会の生活の質や文化の向上に積極的に取り組んでおります。

これからも、組合員の豊かな暮らしづくりに奉仕するために、円滑な資金供給と金融サービスを提供していくことはもちろんのこと、文化的・社会的貢献活動を通じ、組合員の暮らしにうおいを与え、地元振興に積極的に資する、地元の金融機関として在り続けます。

融資を通じた地域貢献

地元中小企業及び個人のお客様をはじめとする地域への円滑な資金供給を重要な使命と捉え、新商品の提供などを通じて、地域のお客様の資金のニーズにお応えします。

貸出金業種別残高・構成比

(単位：百万円、%)

業 種 別	2019年9月		2020年9月	
	金 額	構成比	金 額	構成比
製 造 業	1,329	7.4	1,841	9.4
建 設 業	1,408	7.9	1,501	7.6
卸 売 ・ 小 売 業	2,045	11.4	2,485	12.6
各 種 サ ー ビ ス 業	3,625	20.3	3,914	19.9
そ の 他 の サ ー ビ ス	1,436	8.0	1,577	8.0
小 計	9,844	55.0	11,318	57.5
地 方 公 共 団 体	1,775	9.9	2,364	12.0
個 人 (住 宅 ・ 消 費 ・ 納 税 資 金 等)	6,283	35.1	5,988	30.4
合 計	17,904	100.0	19,671	100.0

※金額は単位未満切り捨て、構成比は単位未満四捨五入で表示しております。

中小企業等金融円滑化に関する取組

私どもの「融資」は、不安を解消し、安心を提供するもの。『融資は“安心”の提供であり、不安を解消するための手段である。』と言い切る。貸したところから“真”の付き合いが始まり、返し終わるまで、とことん面倒を見る「永続伴走型」の支援である。

小さいものや力の弱い者の味方として力を貸す。世のため人のための信用組合として「保証づけ」や「過剰融資」により負担を強いられている企業を支援する。

金融機関との付き合い方が優先する時代ではなく、本業に関するアドバイスなど、しっかり事業者のための支援をしてくれる「金融機関」を選ぶ時代である。

私どもは「選ばれる金融機関」になるために、キャッシュフローを導き出して、事業者が本業に傾注出来るご支援を徹底することを決めました。

経営者保証に関するガイドラインへの対応

当組合では「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨を十分に踏まえ、お客様から借入や保証債務の整理について相談を受けた際には、誠実に対応する態勢を整備しております。

経営者保証の必要性については、お客様との丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況を把握し、同ガイドラインの内容を踏まえて充分検討するなど、適切な対応に努めております。そのうえで継続的かつ良好な信頼関係の構築と経営改善支援に取り組んでいます。

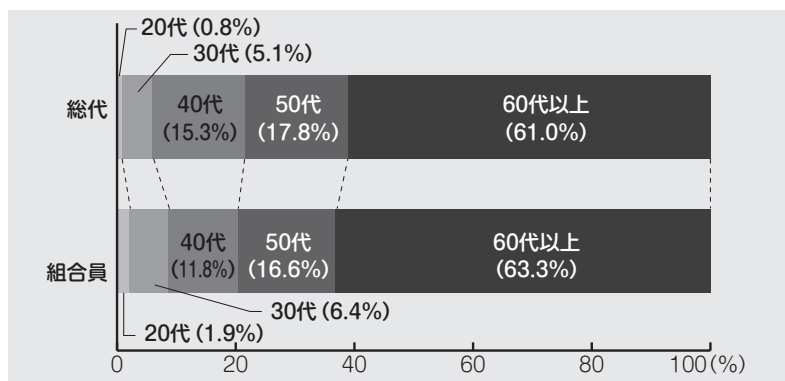
経営者保証に関するガイドラインの取組状況	2019年9月	2020年9月
新規に無保証で融資した件数 (ABLを活用し無保証で融資したものは除く)	3	15
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	0.25	1.32
保証契約を解除した件数	0	1
ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数	0	0



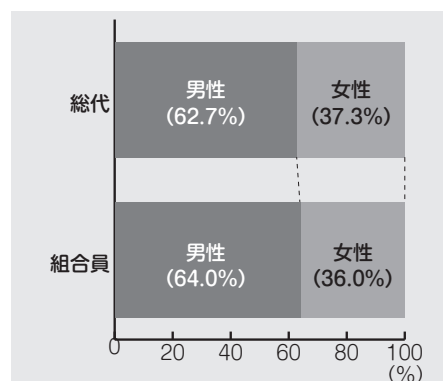
● 当組合のガバナンス強化の取組

組合員を代表する「総代」の機能発揮が“本来のあるべき姿”として総代の意見がイコール組合員の総意とみなせる条件を整えました。

● 総代の年代別構成比



● 総代の男女別構成比



来期2021年6月の総代改選に関する予定

ガバナンスの強化から、総代の選出を組合員構成比に近づけたものとして、年齢・男女・業種の比重を加味した総代選挙とする予定です。

1. 今後のスケジュールについて

- ① 2021年5月「総代地区会議」兼「総代選挙説明」
- ② 2021年5月「総代選挙管理委員会」開催
- ③ 2021年5月「総代選挙の公告」「総代立候補の受付期間」「総代候補者の氏名の公表」
- ④ 2021年6月10日（木）「総代選挙会」開催「新総代120名の就任」

来期2021年6月の理事改選に関する予定

理事の候補者の選考について、6人以上10人以内の定款定数の範囲で、ガバナンスの強化から、職員外理事を過半数以上とする。

1. 今後のスケジュールについて

- ① 2021年4月「理事会にて理事選考委員選出」
- ② 2021年5月「総代地区会議にて理事選考委員決定」
- ③ 2021年6月「理事選考委員会開催」
- ④ 2021年6月「総代会」開催「新理事就任」

2020年度の総代地区会議・通常総代会について

2020年5月の総代地区会議は「新型コロナ対策」として総代一人一人に個別訪問により下記内容を説明しました。

- 1) 当組合の「新型コロナ対策」について
- 2) 2019年度「決算」に関する報告
- 3) 2020年度「事業計画」「収支予算案」の説明
- 4) 通常総代会の予定議案の説明
- 5) 通常総代会の「開催制限」について説明
- 6) 書面にて総代から「ご意見・ご要望」

2020年6月の通常総代会は「新型コロナ対策」として118名の「総代」へのご案内は、各地区を代表する「総代31名」のみ出席とし、そのほかの「総代」へは「委任状31名」による出席と「書面議決56名」による出席により、下記議案を可決されました。

- 第1号議案 2019年度「第67期」剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 2020年度「第68期」事業計画及び収支予算決定の件
- 第3号議案 当組合「役員定年規約」一部変更の件
- 第4号議案 当組合「役員退任慰労金支給規約」一部変更の件

- 第5号議案 監事任期満了に伴う改選の件
- 第6号議案 退任役員に対する退任慰労金支給の件
- 第7号議案 組合員「除名」議決の件
- 第8号議案 2020年度「理事および監事の報酬総額」決定の件
- 第9号議案 当組合「経営情報」開示の件

2020年11月の総代地区会議は「新型コロナ対策」として118名の「総代」へのご案内は、各地区の「総代7名」のみ出席とし、そのほかの「総代」へは、総代地区会議開催日の同日に総代一人一人に個別訪問により下記内容を説明します。

- 1) 2020年度半期決算の報告並びに2020年3月期決算見込み
- 2) 当組合の「経営情報」に関する説明
- 3) 来期の組合員「除名」議決に関する件
- 4) 来期の「総代改選」及び「理事改選」に関する件
- 5) 営業店の状況報告「塩信だより」等資料の御案内
- 6) 組合運営に関する意見交換

以上

● 2020年上半期「外部機関との連携」「文化的・社会的貢献・地域貢献」に関する活動

4月10日(金)	「南魚沼市緊急融資説明会」参加
20日(月)	「南魚沼市・林市長との情報交換」(小野澤理事長、高橋理事) 「津南町・桑原町長との情報交換」(小野澤理事長、須藤常務) 「出前ランチ手当」支給で地元の飲食店を応援
21日(火)	「魚沼市・佐藤市長との情報交換」(小野澤理事長、須藤常務) 13:30「湯沢町・田村町長との情報交換」(小野澤理事長、高橋理事)
5月2日(土)～6日(水)	9:00～15:00「新型コロナウイルス感染症対策・休日相談窓口」(役職員)
6月3日(水)	「全店ボランティア清掃」6月～9月まで実施(全役職員)
11日(木)	「宿泊業の安心衛生サミット」第2弾(ホテル木の芽坂)
7月2日(土)	「湯沢町へ新型コロナウイルス感染症対策支援要請」(小野澤理事長他4名)
3日(日)	「11年連続好決算・寄付金贈呈式」(津南町役場・100万円、地元頑張る企業6社)(木の芽坂) 「南魚沼市へ新型コロナウイルス感染症対策支援要請」(小野澤理事長他9名)
6日(月)	「魚沼市へ新型コロナウイルス感染症対策支援要請」(小野澤理事長他6名)
8日(水)	「津南町へ新型コロナウイルス感染症対策支援要請」(小野澤理事長他6名)
10日(金)	「地域還元型賞与3万円支給」
15日(水)	「つむぎ通り開発個別意向調査」(塩沢庁舎) 須藤常務 湯沢町商工会支援事業説明会(森下参事)
21日(火)	「津南町商工会との情報交換会」(津南支店) 「湯沢町商工会との情報交換会」(石打支店)
23日(木)	職員と近隣住民が一体となった「防災避難訓練」を実施
28日(火)	「六日町商工会との情報交換会・五日町支店」 「塩沢商工会との情報交換会・本店」
29日(水)	「社会保険委員会」(新潟)(小野澤理事長)
30日(木)	「社会保険・支部長会議」(7人)(十日町)(小野澤理事長・上村監事出席) 「湯之谷商工会との情報交換会・小出郷支店」
31日(金)	「大和町商工会との情報交換会・五日町支店」
8月5日(水)	「湯沢町・事業承継仕組み作り検討会」(森下参事)
7日(金)	「観光地域づくり法人検討委員会」(福原支店長)
11日(火)	「COCOA」普及促進キャンペーン開始
24日(月)・25日(火)	「就職応援フェア・Web企業説明会」*中継会場「本部2階」全19社
27日(木)	「中国財務局へ理事長による講演会」(福原店長、戸田代理、岸野主任、佐藤温子) 「地方創生意見交換会」(戸田代理)
9月8日(火)	「湯沢町事業承継仕組み作り検討会」(森下参事)
15日(火)	「南魚沼中学校校長会へ基金説明」(須藤常務、戸田代理)
29日(火)	「新型コロナウイルスなんかには負けないぞ!!」宣言とマニュアルの提供

● 地域を応援する取組 (地域の課題に対する独自のベンチマーク)

■ 津南町寄付贈呈式並びに事業者表彰式

7月3日(金)に「津南町への寄付贈呈式」並びに「地元で頑張る事業者表彰式」を開催しました。地元自治体を代表して、津南町に寄付金100万円を贈呈し、長引くコロナ禍で地方経済が疲弊して来ている中で、新型コロナ感染症対策に貢献した地元事業者6社を表彰しました。

塩沢信用組合は、これからも「経済性より社会性」を掲げ、目先の利益より持続可能な地域社会を優先していきます。





■地元で頑張る事業者6社のコメント


株式会社 SEP INTERNATIONAL

活 動

- ・コロナウイルス感染を防ぐために行動が制限されている福祉施設等の31施設に約1,300食の寿司弁当を提供。その他に「こども食堂」と題して小学生以下の子供を対象に店頭にて寿司弁当の無料配布を計2日間行いました。
- ・「マスクを作ってあげちゃおう！プロジェクト」と題して使わなくなった古着やハンカチ等を店頭へ持っていくとその生地を利用してマスクを作る取組を無料で行いました。

寄付金贈呈のコメント

当社の取組が評価され、今回このように表彰して頂きありがとうございます。今後も引き続きお客様に喜ばれて、喜んでもらえる会社を目指していきます。



株式会社 アイシーエム


活 動

コロナウイルス感染症予防の為にマスクが不足し入手づらくなっている事を踏まえ、マスク製造に早くから取組み、市当局に300枚寄贈した他、当組合にも寄贈して頂きました。市当局からは学校関係に配布されました。また現在では医療用アイソレーションガウンが全国的に不足している事から、同ガウンの開発に入っています。

マスクと医療用ガウンの取組みは受注減により製造ラインが空いている事のカバーにもなり、雇用の確保と特にマスクの供給不足をカバーする事になりました。

寄付金贈呈のコメント

素晴らしい賞を頂き大変光栄です。微力ながら地域のみなさんのお役に立てた事をうれしく思っております。




割烹 保よし

活 動

コロナウイルス禍の来店客減少の中で、売上確保の為に「特製仕出し弁当を新たに取組みする」などの工夫を行い、また地元の雇用継続の為に、「自ら雇用調整助成金の手続きを行う」など、「事業継続に対する一生懸命さ」が評価されました。

寄付金贈呈のコメント

小野澤理事長の言葉「今が知恵の出し所。新しい手を打つか打たないかで全く将来が違って来る。」を指針に踏ん張ります。




日本料理 吉原屋

活 動

3年前に導入した精製機で作れるアルカリ電解水にアルコール以上に除菌作用がある事から、近隣保育園、おおまき小学校に継続して除菌用のアルカリ電解水を無償で提供。地域の子供たちを新型コロナウイルス感染症から守る取組みが評価されました。

寄付金贈呈のコメント

この度の表彰、心より感謝申し上げます。新しい店の在り方を模索しながら皆様に喜んで頂ける様精進致します。




株式会社 ごはん

活 動

町内保育園の園児や保育士を守るために活用して欲しいとの想いから、除菌効果のある「フルボ酸ミスト」を町、教育委員会に寄付しました。自然物であり安心安全なものを子供たちに届けたいという社長の想いが評価されました。

寄付金贈呈のコメント

この度は、このような表彰をいただき身に余る光栄です。今後も地域に貢献できるよう努めてまいります。




玉川酒造 株式会社

活 動

コロナウイルス感染症予防の為に、消毒用アルコールが不足している状況の中で、厚労省が定める「医療機関で使用可能な消毒用エタノールの代替品」として高濃度エタノール製品「魚沼アルコール60（飲用不可）」を発売。必要なところにお届けしたいという考えから、魚沼市への寄付、また取引先飲食店へ配布する等の取組みが評価されました。

寄付金贈呈のコメント

この度は表彰をいただきありがとうございます。引き続き社会への貢献を通じて会社も成長をしていけるよう努力をしたいと思います。



■うおぬまの就職応援フェアWeb企業説明会

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、リアル対面型の「うおぬまの就職応援フェア」は中止となりましたが、今年はWebによる企業説明会を開催いたしました。魚沼地域の企業19社が参加し、情報が入手できず不安を抱える就活者と企業との接点をつなげる場として多くの方が参加いたしました。



● 中小企業の経営支援に関する取組方針

当組合は、地域に真に密着した金融機関であり、中・小規模事業者の拠り所として、地元の将来を背負って立つ気概を持っています。

組合員一人一人は良い時も悪い時もあり、長い目で見れば助けたり助けられたりする間柄。当組合の付き合いは、長期的視点に立つ支援が基本です。当組合の営業地域が限定されていることは”運命共同体“を意味しており、“逃げない”金融機関として、お客様の経営支援に真に正面から取組んでいます。

中小企業の経営支援に関する取組状況

■宿泊業による安心衛生サミットⅡ

3月の開催に引き続き2回目の開催！魚沼エリアの旅館やホテル15業者が参加し、緊急事態宣言後の感染予防策や誘客方法を共有しました。ほてる木の芽坂様のDVD等、個々の旅館の取組みを見せてもらい参考になったという声が上がっています。



■「塩沢信用組合」「日本政策金融公庫」「新潟県信用保証協会」三機関が連携強化

暖冬から続く新型コロナウイルスの影響で地域経済へのダメージは大きく、事業者の資金繰り支援は急務となっています。

3月には、日本政策金融公庫の設けた相談窓口は相談が増え続けており、融資の申込件数も前年の何倍も増加している状況で、相談から実行までのスピーディーな対応が困難な状況となりました。

「塩沢信用組合」「日本政策金融公庫」「新潟県信用保証協会」の三機関が連携を今まで以上に強固なものとし、地域事業者の資金繰り支援に全力を尽くすことを宣言しました。

日本政策金融公庫への融資紹介実績（9月末時点） 90件

■自治体への支援要請

「宿泊業による安心衛生サミット」で緊急事態宣言の解除による今後の取組みについて意見交換を実施した結果、個々の営業努力ではかなわないこと、自治体・商工団体との連携が必要との意見があり、その事を受けての自治体への支援要請となりました。

★支援要請内容

1. 「修学旅行・合宿」等対象の自治体への誘客を首長名でしていただくことを要請しました。
2. 自治体からの認定書等発行により「安心と安全（感染リスク回避）」の提供地域ブランドのイメージアップを図ることを要請しました。



「新型コロナウイルス」に関する各補助金等の手続き支援実績（9/30日現在）

当組合では、2020年度事業計画をすべてストップし、新型コロナウイルス感染症対策を最優先に取り組むことを掲げました。各補助金等において迅速に地域住民に行き渡るよう手続きの支援にも取り組みました。

	特別定額 給付金	持続化 給付金	雇用助成 関係	休業 協力金	コロナ対策 三密補助金	南魚沼市等 給付金	持続化 補助金	家賃支給 給付金
全店計	125	282	18	65	217	209	8	9

顧客保護に関する取組と実績



新型コロナウイルス感染症対策マニュアル作成

新型コロナウイルスに関する情報や基本的な予防方法や気になることを一冊にまとめました。職場内で感染者が出たときにどういった対応をとるのか、家族に感染者が出たときにどうすればいいのかが等悩んでいる方にも参考になるように、ホームページからいつでもダウンロードできるようになっています。

10月中旬以降しんくみHPからダウンロードできます
<http://www.shiozawa.shinkumi.jp/>



新型コロナ接触アプリ「COCOA」ダウンロード推奨キャンペーン

自分をまもり、大切な人をまもり、地域と社会をまもるため、塩沢信用組合では新型コロナ接触アプリCOCOAのダウンロードを推奨しています。

塩沢信用組合ご利用のお客様で、当組合・本支店の窓口にて、COCOAインストール画面をご提示いただいたら「ペン型アルコール除菌剤」を1本プレゼント。その際に当組合が用意した「登録者カード」へ「氏名、住所、電話番号」の記入し、登録者から抽選で5万円分の旅行券や図書カードが当たります。

当組合は、今後も地域の方が安心して生活できる安全なまちづくりを目指して参ります。



特殊詐欺注意喚起

新型コロナウイルス拡大に伴う助成金や補助金の詐欺が急増しています。最近では、給与ファクタリングなど若い方でも被害にあってしまうような手口も出てきています。当組合では、警察署の方と共に大切なお客様が被害にあわないよう注意を呼びかけました。



三位一体防災訓練

近隣住民、消防署、塩沢信用組合の三位一体防災訓練を実施しました。当日は、地元消防署の方からお越しいただき、消火器訓練、AED訓練のご指導をいただきました。最近では、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、人工呼吸はしなくなっているとのことであり、定期的に訓練を行うことの大切さを改めて実感しました。





魚沼の
塩沢信用組合



本部しんくみセンター

〒949-6408 新潟県南魚沼市塩沢1221番地4
TEL (025) 782-1201(代) FAX (025) 782-4063
ホームページ <http://www.shiozawa.shinkumi.jp/>
メールアドレス shinkumi@pluto.plala.or.jp

本店

〒949-6408 新潟県南魚沼市塩沢1198

TEL (025) 782-1151(代)

石打支店

〒949-6371 新潟県南魚沼市関1124番地1

TEL (025) 783-2962(代)

五日町支店

〒949-7101 新潟県南魚沼市五日町387番地1

TEL (025) 776-2691(代)

津南支店

〒949-8201 新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡戊543番地3

TEL (025) 765-3125(代)

小出郷支店

〒946-0076 新潟県魚沼市井口新田547番地15

TEL (025) 792-7766(代)